

東日本大震災被災地救援活動 平成 23 年 3 月 21・22 日



3・11 大震災後の買占めなどで品物が乏しい中、福岡・大阪・東京にて会員・役員の協力で集められた救援物資



緊急物資輸送車両に積み込み作業。出発準備。輸送車は大畑運輸が無償提供・自ら運転された大畑社長（右車上） 3月21日

— 3月21日 緊急物資を緊急車両に積込、夜半出発。22日早朝、仙台着 —

東日本大震災直後は、高速道路損壊による通行禁止、燃料不足と原発建屋爆発事故による放射能汚染不安により輸送車の調達が困難。櫻田さんと大畑社長が緊急物資輸送車両の無償提供と運転を引き受け下さり、要請のあった被災地会員組合への緊急物資輸送が実現できました。



21日、救援物資積込後千葉出発。22日早朝、仙台の協同組合エムビー・ネットワーク右から西井弘会長、村上忠理事長に到着を報告。西井(弘進ゴム(株))会長の工場も津波で流出。



荷下ろし作業中。右から大畑社長、櫻田義孝さん、香坂専務。九州白石理事、大阪中山会長が物資調達に走り回り集めました。



全国ビジネスサポート協同組合連合会から届けられた灯油を始とした救援物資の一部。



搬送指示をする中央背中の協同組合エムビー・ネットワーク村上久忠理事長。